

祝1万ダウンロード突破!

山科区公式アプリ

「やましなプラス+」好評配信中!

平成29年5月に誕生した「やましなプラス+」。皆さん、もうダウンロードはお済みですか?

「やましなプラス+」では、区役所をはじめとする行政機関や、各種団体等の情報をリアルタイムに配信しています。

その他、お買い物等で使用可能なポイントが貯まる「健康ウォーキング」機能や区内の飲食店などで使えるお得なクーポンも掲載しています!



店舗情報・クーポンを掲載していただける店舗、企業様を募集しています。詳しくはお問合せください。

App StoreまたはGoogle Playで「やましなプラス+」と検索するか、下記QRコードから無料でインストールできます。※通信料は利用者負担



問合せ 山科区スマートフォンアプリ運営協議会 (区総務・防災担当) (☎592-3066)

公園愛護活動に参加してみませんか?

市内の公園では、地域にお住まいの方々により、公園愛護協会というボランティア団体を結成いただいております。

清掃や除草などの公園美化活動や、施設の点検、利用マナーの啓発などにご協力をいただいております。公園がより一層美しく、利用しやすいものとなるよう、こうした公園愛護活動に参加してみませんか。

活動場所 お住まいの近くの公園

申込要。電話又は窓口でお申込みください。

申込・問合せ 南部みどり管理事務所 (☎643-5405)
〒612-8439 伏見区深草五反田町112



京都市自治記念式典

区内54名・73団体に表彰状が贈呈されました。

自治記念日の10月15日、京都市自治記念式典がロームシアター京都で開催されました。

明治31年10月15日、市民自らの手により市長を選任し、市役所を開庁したことにより、真の自治権を獲得したことを記念し、昭和33年から毎年この日に式典が開催されています。

式典では、市政協力委員として、市政の円滑な運営に協力されている皆様や、魅力あふれる未来の京都の実現に向け、尽力されている個人や団体などに対し、門川市長から表彰状が贈呈されました。

問合せ 区まちづくり推進担当 (☎592-3088)



「地域団体とNPO法人の連携促進事業」助成プログラム採択事業に対する寄附を募集中!

地域の課題解決に取り組む事業について寄附を募り、さらに集まった寄附額と同額を市が助成する制度を、市では(公財)京都地域創造基金と協働で実施しています。

下記事業に対する寄附金を募集していますので、皆様の応援をお待ちしております。

事業名: 匠スポーツフェスティバル
地域団体: 小野学区社会福祉協議会
NPO法人: 京都日野匠スポーツクラブ

※詳しくはホームページをご覧ください。

京都地域創造基金 検索

事業概要 近年子どもたちが外に出て遊ぶ機会が少なくなり、遊べる場所も限定的になってきています。それらを解消するため、京都日野匠スポーツクラブでは、楽しく体を動かしながら他者と交流するイベント「匠スポーツフェスティバル」を実施しています。

今回は小野学区社会福祉協議会の協力のもと、障害を持つ子どもたちを対象に、気軽にスポーツを体験してもらいながら、更なる地域交流を目指します。

寄附金募集額 15万円

問合せ 市地域自治推進室 市民活動支援担当 (☎222-4072)

問合せ 区総務・防災担当 (☎592-3066)

「できれば2本くらい増やしたい」と意気込む岩崎さん。みんなで乗って鏡山循環バスの大きく育つ姿が楽しみです。

鏡山学区自治連合会相談役の岩崎泰大さんにお話を伺いました。「バスが廃止になり一番の心配は、外出の機会の減った高齢者の引きこもりでした。」同居していた子どもが独立してしまい車に乗れず困っている高齢者の例など、様々な苦労を自にしたそうです。そこで、地域ぐるみで運動を行った結果、平成25年に実証運行の形で京阪バスが1日2便運行することになりました。しかし、これが活動の始まり。なぜなら2年の間に1便当たり平均20人の乗客が確保できなければ再び廃止するという約束だったからです。初年度の乗車実績があまりよくなかったことから、地域住民への啓発活動に本気で取り組むことに。岩崎さんも運動会や健康体操の場など、人が集まるありとあらゆる機会ですべて呼びかけました。小学校の授業でもバス復活の話をしていきます。「子ども達が直接乗らなくても、高齢者にとつて大切な足であるバスを地域の住民が熱心に運動して復活させた、という話を理解してもらうことで、家庭で親や祖父母に伝えることを期待しています。授業では子ども達自身でバスの利用促進策について研究し、マスケットキャラクターやポスターを作ってくれたりしてあげたいことです。」研究の成果は年末の餅つき大会で地域住民に発表されたそうです。



山科区内では地下鉄の開通と共に大きくバスの本数が減り、鏡山学区の中心部を走るバスは一度なくなってしまうました。しかし住民の粘り強い運動の結果、京阪バスによる鏡山循環バスが走り始めました。

みんなで乗車し地域で育てる、鏡山循環バス

第63回 連載 区民活動きずなリレー

みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!